

早稲田大学 社会科学部 数学 講評

〔総合分析〕

出題形式	記述式
試験時間	60分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
1	定積分，微分の応用	$f(t)=0$ のとき， $f(x)=f(x)\times[\text{商}]+(\text{余りの式})$ を利用することで無理数 t を代入し易く工夫する．	標準
2	図形と方程式，2本の接線に接する円の方程式	図形の式と三角関数～ $\tan\theta$ の加法定理～を融合した問題．	標準
3	漸化式	項番に偶奇により場合分けの必要な漸化式では「帰納的推論」の考えが必要となる．近年の早稲田大学の漸化式の問題にはこの傾向が強く見られる．	標準

〔総合コメント〕

<p>1, 2 は典型問題 2 題なので落としたいくない所である．3 は具体的な番号により予想を立てることが問題の趣旨の把握につながる．</p>
--